



ジカウイルス感染症 (ジカ熱) を正しく知りましょう

中南米を中心に、ジカ熱の感染が多数報告されています。
ジカ熱はデング熱などと同様に蚊が媒介して感染します。また、ジカ熱は感染しても症状がないか、症状が軽いため気付きにくいこともあります。

現在、日本国内でのジカ熱の感染は報告されていませんが、今後、中南米など現在ジカ熱が流行している地域に渡航される予定の方々は、現地において、蚊に刺されないよう予防対策に努めてください。

妊婦の方が感染すると、胎児にも感染する可能性が指摘されており、
妊婦の流行地域への渡航については慎重に検討ください。



すべての蚊がジカウイルスを保有しているわけではないので、蚊に刺されたことだけで過分に心配する必要はありませんが、
海外の流行地にでかける際は、蚊に刺されないように注意しましょう。
長袖、長ズボンの着用が推奨されます。蚊の忌避剤なども現地で利用されています。

心配な場合は、

帰国された際に、空港等の検疫所でご相談ください。

帰国後に心配な場合は、保健所までご相談ください。

和歌山市感染症情報センター

Wakayama City Infectious Surveillance Center

和歌山市感染症

検索

<http://www.kansen-wakayama.jp/>